

技術者のミライ研究委員会主催・青年技術士交流委員会&道南技術士委員会連携・協力 『技術士を知ろう！ in 函館高専 2021』

1. はじめに

道南技術士委員会では、地域の担い手確保、技術水準の向上、函館を中心とした道南圏で活動する技術者の育成を目的に日々取り組みを行っております。本報告では、「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」の企画に、青年技術士交流委員会(青技交)と共に連携・協力といった形で、函館工業高等専門学校での講演を実施させていただきました。

「技術士を知ろう！ in 函館高専」の企画には令和元年度から3年連続で連携・協力という形で参加させていただいており、参加者・講演者にとっては母校での発表とゆう申し分ない貴重な機会と認識しております。

2. 実施概要

開催日時：2021年(令和3年)12月20日(月)

14:40～16:10

講義内容：技術士資格の説明

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

高専卒業後の進路、働き方等

対象者：函館工業高等専門学校 社会基盤工学科
3年生 33名

参加者：小澤代表、千葉幹事長(ミライ研2名)

中谷(青技交幹事)、原田(青技交幹事)

村本、水野(道南技術士委員会4名)

例年、函館高専での講演は社会基盤工学の澤村先生(技術士/建設部門)の協力のもとでスムーズに実施することができております。澤村先生は筆者が在学当時のコンクリート分野全般の担当教員であり、自分が技術士になって先生と一緒に活動を行うことになるとは、学生時代は想像もつきませんでした。

しかし、このような立場となったいまは、現役学生に少しでも技術士の魅力や、社会における技術士の必要性を伝えていけるように努めていかなければとゆう思いに駆られております。

3. 技術士資格の説明と技術士の仕事内容

技術士資格の説明はミライ研の代表で北電総合設計(株)に勤務する小澤技術士より、技術士の仕事内容についてはミライ研の幹事長で(株)北海道水工コンサルタンツに勤務する千葉技術士が講演されました。(※ミライ研活動レポートを参照)

4. OBによる技術士の仕事紹介

技術士の具体的な仕事内容の紹介として、函館高専OBで(株)東鵬開発に勤務する原田技術士(筆者)から、主に道南における土木系コンサルの仕事内容を紹介します。また、海岸における越波対策の仕事内容については、動画や写真を活用して学生にイメージが伝わりやすいように説明。さらに、OBとして学生時代の進路の考え方や、専攻科を選択した経緯、入社してから現在までのキャリアパス、社会人として地元で働くことの面白さ等を説明することで、学生たちに技術士がより身近なものであると感じてもらえたと思います。



写真-1 母校で熱弁する原田技術士(筆者)

5. OGによる高専卒業後の進路・仕事紹介

函館高専OGで(株)東鵬開発に勤務する村本技術士補からは、高専卒業後の当時の進路の考え方や現在の仕事内容、働き方を紹介。函館高専卒業後、北見工業大学に進学し、その後地元函館に就職した経緯や、大卒のメリット、技術士補としての現在の仕事内容について、学生たちにも伝わりやすいようにイラストを駆使して説明しました。

また、地元で活躍する若手女性技術者のリアルな考え方や思いに対して、女子学生を中心に自分たちのこれから訪れる近い将来を重ねることができたのではないのでしょうか。



写真-2 安定感抜群のプレゼンを行う村本技術士補

6. 質疑応答・感想

質疑応答では、函館高専OBの中谷技術士によるユーモアあふれる司会進行により、講演者のより具体的な考えや思いを引き出していました。以下に、原田技術士と村本技術士補へ寄せられた学生からの質疑・感想を抜粋して紹介します。

①原田技術士へ

- ・技術士の勉強と仕事を両立させる中の一日のスケジュールはどのようなものでしたか？
- ・技術士会の活動を初めて聞いたので、活動の感想などを聞いてわかりやすかった。
- ・技術士のメリットがくわしく知れて興味が出ました。すごい資格ということもわかりました。

②村本技術士補へ

- ・数少ない女性技術者の話を聞いて勉強になった。
- ・女性技術者のお話から私も好きなことを見つけて頑張りたいと思いました。

なお、今回サポートメンバーとして協力していただいた函館高専OGで(株)東鵬開発に勤務している水野さんは、学生時代に平成30年に実施された「技術士を知ろう！ in 函館高専」の講演を聞いており、現在社会人となって講演を聞く側から伝える側になった経歴の持ち主です。そのため、今回実際に活動に参加して得られた感想を紹介します。

- ・学生の頃、「資格は社会人になってから取得するもの」という漠然としたイメージを持っていましたが、「技術士を知ろう！」を聞いて学生のうちから資格を取得する利点を知ったことで、それに関連した将来の目標設定などを考えるようになり、資格取得への意欲が湧いたことを覚えています。
- ・今回、伝える側となり、説明を行う方々とお話する機会が多くありましたが、どのような方法・内容・話し方で説明すればより多くの学生に技術士の利点が伝わるかを常に考えており、学生もそれに応えるように真剣な表情で聞いていました。伝える側の姿勢が、こんなにも聞く側に影響を与えるのだと感じました。1人でも多くの学生が技術士について興味を持ってくれると嬉しいです。

水野 夕梨香【函館高専OG】



写真-3 函館高専OGの水野さん(写真左)新卒ながらサポートメンバーとして活躍

7. まとめ

本講演において、講演数4枠のうち道南技術士委員会に2枠を任せていただいた、ミライ研・青技交の皆様へ感謝するとともに、今後もガッチリと連携を継続し、ミライの技術者たちへ「技術士」の魅力を伝えていく取り組みに力を入れていこうと考えております。